

東京国立 博物館 ニュース

第693号
展示と催し物
案内

2 ◎ 開山無相大師650年遠諱記念特別展「妙心寺」

3 ◎ 慶應義塾創立150年記念「未来をひらく福澤諭吉展」

4 ◎ 興福寺創建1300年記念「国宝 阿修羅展」

5 ◎ 特別展「Story of…」

カルティエ クリエイション | めぐり逢う美の記憶

6 ◎ 特集陳列「黒田清輝のフランス留学」

7 ◎ 特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」

8-10 ◎ 平常展見どころ案内2009年2月・3月

重文 仏涅槃図／特集陳列「画家の手紙」／

特集陳列「法帖と帖学派」／形見の直垂／重文 繡仏裂

12-13 ◎ 教育普及事業 14 ◎ INFORMATION 15 ◎ TOPICS

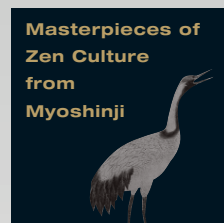
16 ◎ 2009年2月・3月の展示・催し物

2009

23

月号





今回の妙心寺展でとくに注目したいのは襖絵です。妙心寺は障屏画の宝庫であり、山内には室町時代以降の襖絵、屏風絵が多数所蔵されています。ここでは焦点を襖絵に絞って本展の見どころをご紹介します。

禅宗寺院の襖絵は、室町時代においては基本的に水墨画でした。花や鳥に彩色が施されるにしても基調は水墨画だったのです。その好例が、狩野元信らによる重要文化財「霊雲院方丈障壁画」(図1)です。室町時代には、主としての禅僧の好みを反映し、水墨画が選ばれていたと考えられます。その理由としては(一)水墨画が禅の故郷、中国の主流の様式であったため、(二)水墨画が静寂な雰囲気醸し出すため、(三)襖絵の主題が中国的な画題であったためなどが考えられます。

ところが安土桃山時代に入ると、禅宗寺院の襖絵も、城郭や邸宅の襖絵と同様に、金地に濃彩を施した「金碧」と呼ばれるたいへん華やかな様式へと変化します。その様相をよく示すのが狩野山雪による「老梅図襖」(図2)です。安土桃

開山無相大師六五〇年遠諱記念

特別展

妙心寺



図1 ◎四季花鳥図 霊雲院方丈障壁画のうち 狩野元信筆 室町時代・16世紀 京都・霊雲院蔵 2/8まで展示
広々とした空間に憩う花鳥を、ほとんど墨だけで描いています



図2 老梅図襖 旧天祥院障壁画 狩野山雪筆 江戸時代・17世紀 米国・メトロポリタン美術館蔵
実際に描かれたのは江戸時代ですが、安土桃山時代の豪華な金碧画の様式を色濃く留めています
The Metropolitan Museum of Art, The Harry G. C. Packard Collection of Asian Art, Gift of Harry G. C. Packard, and Purchase, Fletcher, Rogers, Harris Brisbane Dick, and Louis V. Bell Funds; Joseph Pulitzer Bequest, and The Annenberg Fund Inc. Gift, 1975. (1975. 268, 48a-d) Image © The Metropolitan Museum of Art

図3 山水図襖 妙心寺大方丈障壁画のうち 狩野探幽筆 江戸時代・17世紀 妙心寺蔵
4面のうち2/8まで2面、写真の作品は2/10から展示
水墨による余白を活かした画風は、静かで落ち着いた雰囲気を醸し出します



山時代には豊臣秀吉が金を好み、秀吉の発注する障壁画はほとんど金地濃彩となりました。諸大名も秀吉の趣味に追随し、彼らが創建する城郭・邸宅・寺院・塔頭の襖絵も金碧の様式が多くなり、この時期、妙心寺山内でも金碧の襖絵、屏風絵が増えてゆきます。

豊臣家を滅ぼした徳川家康によつて強固な幕藩体制が形成される江戸時代に入ると、禅宗寺院の襖絵は再び水墨の閑寂な世界にもどります。狩野探幽・益信による大方丈の襖絵(図3)はその代表的な作例です。こうした変化も家康の施政方針と関連しており、華やかな様式が敬遠されていると考えられます。このように襖絵は時代と社会に対応してダイナミックに転換しており、本展はその様相を实物で体感できる、絶好の機会です。

(救仁郷秀明)

開山無相大師650年遠諱記念 特別展「妙心寺」

1月20日(火)~3月1日(日)

東京国立博物館 平成館特別展示室第1~4室

主催:東京国立博物館、臨済宗妙心寺派大本山妙心寺、読売新聞東京本社

協賛:野崎印刷紙業 特別協力:花園大学 協力:臨済会、日本航空

観覧料:一般1,500円(1,200円)大学生1,200円(900円)高校生900円(600円)

※()は団体 ※中学生以下は無料(生徒手帳など年齢のわかるものをご提示ください) ※団体は20名以上

※障害者とその介護者1名は無料(入館の際に障害者手帳などをご提示ください)

※「未来をひらく福澤諭吉展」(1/10~3/8 表慶館)は別途観覧料が必要です

お問い合わせ:03-5777-8600(ハローダイヤル) 展覧会公式サイト: <http://www.myoshinji2009.jp/>

※関連事業については本誌13ページをご覧ください。

未来をひらく 福澤諭吉展

The 150th Anniversary of Keio University FUKUZAWA Yukichi : Living the Future

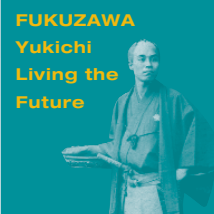


図1 ロンドンでの福澤諭吉 江戸時代・1862年(文久2) 慶應義塾蔵
幕府の遣欧使節の一員として訪れたロンドンで撮影したもの。帯刀姿でポーズをとる珍しい一枚



図3 ゲーテンベルク印行『42行聖書』1455年頃 慶應義塾図書館蔵
活版印刷を発明し、メディア革命をもたらしたゲーテンベルクによる印刷本聖書

現在開催中の「未来をひらく 福澤諭吉」展、その見どころとおすすめの作品をご紹介します。

この展覧会は、慶應義塾創立一五〇周年を記念して、東京国立博物館表慶館でひらかれているものです。そのテーマは「福澤諭吉」。

創設者として知られる福澤(一八三五―一九〇一)の活動を、生涯にわたって取り上げています。近代日本を牽引した偉人「福澤諭吉」に光を当てたこの展覧会は、明治時代に建てられた日本を代表する西洋建築である表慶館の雰囲気にもふさわしいといえるでしょう。

その入り口を入ると、両手を組み、うつむき加減に想いにつける少女の像がわたしたちを出迎えます。これは北村四海(一八七一―一九二七)の「手古奈像」です。大理石彫刻の第一人者である北村が大学図書館に寄贈した作品で、大戦で破損しましたが、このたび修復を経て、戦後初公開となりました。

福澤にまつわる作品資料のなかでは、彼を写した写真資料がとても興味深いものでしょう。一八六〇年(万延元)咸臨丸で渡米した際、サンフランシスコで写真屋の娘と撮った着流し姿の一枚や、欧州巡遊中にロンドンで撮影された帯刀姿の一枚(図1)。こうした土気上がる表情をした若い頃の写真のほかに、妻や子供たちと写したものや、晩年の散歩姿を写したものの(図2)など、当時としてはたいへん珍しく、そして心温まる写真も展示されています。

美術作品も見どころのひとつです。世界に四十八セットのみ現存するうちのひとつ「ゲーテンベルク『42行聖書』」(慶應義塾蔵・図3)や、重要文化財・仁清作 色絵金銀菱文「A 美術館所蔵」など、短経済人たちが収集した藝術品が並びます。

このほかにも、福澤の映す日用品、外遊の際の記録、トや遺墨の数々、また「福澤山脈」と称される門下生の功績など、新たな年のほじまりにふさわしく、私たちの未来にとっても大いに示唆に富む作品・資料が出品されています。貴重なこの機会、是非お見逃しなく。

(三等景子)



図2 散歩中の福澤諭吉

慶應義塾蔵
福澤は、毎朝学生を連れて「散歩党」と称し、4kmほどの距離を散歩した。健康には人一倍気を遣っていたという

慶應義塾創立150年記念

「未来をひらく福澤諭吉展」

1月10日(土)～3月8日(日)

東京国立博物館 表慶館

主催：東京国立博物館、慶應義塾、フジサンケイグループ(主管：産経新聞社)

協賛：鹿島建設、損害保険ジャパン、大王製紙、大日本印刷、大和証券グループ、トヨタ自動車、久光製薬、JR東日本、JR西日本

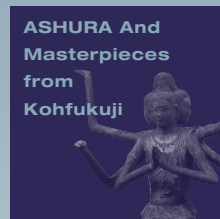
観覧料：一般1,200円(900円) 大学生1,000円(700円) 高校生800円(500円)

※()は団体 ※中学生以下は無料(生徒手帳など年齢のわかるものをご提示ください) ※団体は20名以上

※障害者とその介助者1名は無料(入館の際に障害者手帳などをご提示ください) ※特別展「妙心寺」(1/20～3/1 平成館)は別途観覧料が必要です

お問い合わせ：03-5777-8600(ハローダイヤル) 展覧会公式サイト：http://fukuzawa2009.jp/

※関連事業については本誌13ページをご覧ください。



平城遷都1300年記念
朝日新聞130周年記念
テレビ朝日開局50周年記念

国宝 阿修羅展

The National Treasure
ASHURA
and Masterpieces from Kohfukuji

日本で最も有名な仏像は、と問われたら、阿修羅と答えるひとが多いのではないだろうか。実際にみたことがない人も、憂いに満ちた少年のような表情は知っているはずだ。二〇〇九年春、阿修羅を一具の八部衆像、十大弟子像とともに東京国立博物館でご覧いただけます。

八部衆の魅力は何といっても表情です。阿修羅の憂い、沙羯羅のあどけなさ、五部浄の無垢、乾闥婆の切なさ、畢婆迦羅の怒り、緊那羅の厳しさ、迦楼羅の凝視、鳩槃荼の恐ろしさ。異形も大きな特徴です。たとえば阿修羅は三つの顔と六本の腕を持ちます。しかし、脇の顔は思い浮かばない人も多いのではないのでしょうか。正面の顔に目が釘付けになるせいもありますが、実は寺では脇面がよく見えます。今回、阿修羅は三六〇度から見ることができ、脇面や背中もじっくりご覧下さい。



●八部衆像 迦楼羅立像(部分)
奈良・興福寺蔵



●十大弟子像 迦旃延立像(部分)
奈良・興福寺蔵



●八部衆像 阿修羅立像
奈良・興福寺蔵

生節目のある姿を連想させます。須菩提の希望に満ちた表情は志学(十五歳)、舍利弗の自信は而立(三十歳)、羅睺羅の落ち着きは不惑(四十歳)、目犍連の老境に差が衰えない表情は知命(五十歳)富楼那の温和は耳順(六十歳)迦旃延の達観した姿は威(七十歳)といったぐあいです。阿修羅は、光明皇后が天平四(732)に亡くなった母、橘周忌のために西金堂と持したもので、本展には、持仏と伝える法隆寺の尊像と厨子も特別出品されます。飛鳥時代後期を代表する作品です。

興福寺は平城遷都にともなって藤原京から現在地に移されましたが、中心となる中金堂の基壇には、地鎮のために多くの財宝が埋納されました。これまで全容をみる機会には皆無でしたが、今回は大部分を陳列します。

以上の創建期作品のほか、鎌倉時代に西金堂に安置された、本尊釈迦如来の頭部と光背付属の化仏と飛天、脇侍の葉王菩薩・葉上菩薩像も展示します。仏頭は、仏師運慶の作品である可能性が高いものです。

(丸山士郎)

興福寺創建1300年記念
「国宝 阿修羅展」

3月31日(火)～6月7日(日)
東京国立博物館
平成館特別展示室第1～4室

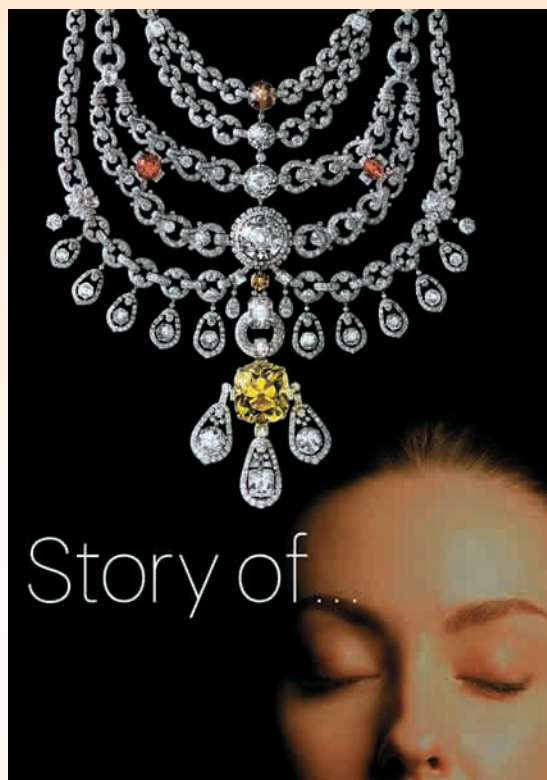
主催:東京国立博物館、法相宗大本山興福寺、朝日新聞社、テレビ朝日 後援:文化庁、平城遷都1300年記念事業協会
特別協賛:JAバンク 協賛:凸版印刷 特別協力:ソニー 協力:文化放送、朝日学生新聞社
観覧料:一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)
※()は前売/団体 ※中学生以下は無料(生徒手帳など年齢のわかるものをご提示ください) ※団体は20名以上 ※障害者とその介護者1名は無料(入館の際に障害者手帳などをご提示ください) ※特別展「Story of ...」カルティエ クリエイション～めぐり逢う美の記憶(3/28～5/31 表慶館)は別途観覧料が必要です
お問い合わせ:03-5777-8600(ハローダイヤル) 展覧会公式サイト: <http://www.asahi.com/ashura>
2009年7月14日(火)～9月27日(日)九州国立博物館へ巡回します
主催:九州国立博物館、法相宗大本山興福寺、朝日新聞社、九州朝日放送
※関連事業については本誌13ページをご覧ください。

**Memories of
Cartier
creations
directed by
Tokujin Yoshioka**

今年度は日本とフランスの交流
一五〇周年に当たります。本展は
これを記念し、日本経済新聞社と
共催で、フランスを代表するジュ
エラー、カルティエのコレクション
ならびにその歴史と哲学を、世
界的にも評価の高いデザイナー吉
岡徳仁氏を監修者に迎え、ご紹介
するものです。

一八四七年の創業以来、さまざまな人々に愛された数々の貴重なカルティエ作品は、個人的なつながりやあるいはオークションをとおして収集され、現在その数は一三六〇点を超えるに至っています。その内容は、ジュエリーをはじめ、時計、アクセサリーなど意匠を凝らしたものの、機能性に優れたものなど、さまざまな作品から成り立ち、幅広いヴァリエーションを形成しています。また各作品は調査・研究の対象としても重要であり、その多彩な広がり、カルティエの一六〇年余りにわたる創造の歴史を映し出しています。

カルティエ コレクションは
一九八九年にパリのプチ・パレ美
術館で最初の展覧会が開催されて



© Cartier

特別展「Story of…」
カルティエ クリエイション | めぐり逢う美の記憶
吉岡徳仁 監修

Memories of Cartier creations
directed by Tokujin Yoshioka

Story of...



クロコダイル ネックレス
photo: N. Welsh,
Cartier Collection
© Cartier

以来、エルミタージュ美術館、メトロポリタン美術館、大英博物館、クレムリン博物館など、世界に名高い博物館・美術館で公開されてきました。日本では東京都庭園美術館と京都の醍醐寺で質の高い展示されています。しかし、これまでのものと異なり、切り口でカルティエの魅力を引き出すものです。

カルティエは、宝飾品は誰が所有し、どのような記憶が込められているかに意味があると考えています。宝石・貴金属は職人たちの技術と英知によつて宝飾品となり、宝飾品は身につけた人の人間性や生き方が積み重ねられることによつて一層その価値が高まると言えます。つまり宝飾品の一つひとつには、さまざまな歴史と物語が秘められていくわけです。監修者の吉岡氏は、カルティエ作品の魅力がこの「ストーリー(物語)」にあると考へ、展覧会のコンセプトに据えました。見る人の想像力に働きかける吉岡氏の演出は、宝飾品の辿つた歴史を見事に蘇らせてくれるでしょう。

さあ皆様もカルティエの魅惑的な世界へ出かけてみませんか。

(井上洋一)

「Story of …」
カルティエ クリエイション～めぐり逢う美の記憶

3月28日(土)～5月31日(日)
東京国立博物館 表慶館

主催：東京国立博物館、日本経済新聞社

特別協力：カルティエ 監修：吉岡徳仁 後援：フランス大使館

協賛：JTB法人東京、シャープ、セントラル硝子、大日本印刷、マックスレイ、山元
観覧料：一般1,400円(1,200円／1,100円)、大学生・高校生800円(600円／500円)

※特別展「国宝 阿修羅展」(3/31～6/7 平成館)は別途観覧料が必要です

お問い合わせ:03-5777-8600(ハローダイヤル)

黒田清輝のフランス留学

3月3日(火)〜4月12日(日) 本館18室

今回で三回目となる黒田清輝作品の特集陳列は、「黒田清輝のフランス留学」というテーマを掲げ、留学期の作品を中心に展示します。

今日のように手軽に海外旅行ができ、海外への連絡が速やかになっても、異国で暮らす経験は人生における一大事であるでしょう。交通も通信も不便であった明治期、十九歳でフランスに渡航した黒田清輝にとって、留学はその後の人生を決定するほど大きな意味を持ちました。法律家を目指して横浜を出発した黒田少

年は、九年後には画家になって帰国することになったのです。画家黒田清輝はフランスで誕生し、成長したのでした。

黒田清輝日記には、黒田が法律学を学びつつ、趣味で描く絵に画家山本芳翠、藤雅三、美術商林忠正が画才を見出し、画家になるように勧めたという記述があります。芳翠はサロンの画家ジャン・レオン・ジェロームに、藤はラファエル・コランの《フロレアル》という作品に惹かれコランに師事して絵を学んでいました。



読書 黒田清輝筆 1891年

黒田の初めてのサロン入選作で、留学の後半期に黒田が好んで訪れたパリ近郊の村グレー=シュル=ロワンで描かれました。この村に住むマリア・ピョーという少女がモデルになっています



フロレアル(花月)習作 ラファエル・コラン筆

1886年頃 東京藝術大学大学美術館蔵

1886年のサロンに出品された作品のための習作です。完成作の「フロレアル」を藤雅三が見てコランを師に選んだことがきっかけとなり、黒田をはじめ幾人かの日本人洋画家がコランに師事することになります

藤がコランのもとへ通う際、フランス語の通訳として同行したのが縁で、黒田もコランの門下となります。同じくコランに入門した久米桂一郎と共同でアトリエつきのアパートを借りて修業に励みました。

このたびは、初期の木炭デッサンやサロンで初入選を果たした作品《読書》など留学期の諸作を紹介し、黒田の画家への歩みを跡づけます。また、東京藝術大学大学美術館のご協力を得て、師ラファエル・コランの作品や、山本芳翠の作品を展示するとともに、藤雅三、友人久米桂一郎ら、留学中に交遊のあった日本人画家たちの作品もあわせて紹介します。これらの作品が一堂に会する稀な機会です。是非、ご覧ください。

(山梨絵美子)

◎智・感・情 黒田清輝筆 1899年

第二回白馬会に出品された後、1900年のパリ万博に出品され銀賞を得た作品です。

小川花、コウ姉妹をモデルにしたことが黒田の日記からわかりますが、西洋的な理想化されたプロポーションになっています



(右から、智・感・情)

「東京国立博物館 コレクションの保存と修理」

2月17日(火)～3月29日(日) 平成館企画展示室

博物館は、先人の遺した数々の文化遺産を、未来に伝えるという大切な役目を担っています。例えば、湿度や照明、汚染空気など環境に敏感な作品を守るため、一年を通じて展示・収蔵環境を整える仕事を行っています。

しかし、数百、数千年という長い歳月を経た作品のなかには、火災や水害、地震による損壊や、急激な環境変化による乾燥やカビ、虫食いの被害を受けるなどして、このままでは貴重な情報を失ってしまうほど、劣化しているものが少なくありません。そういった作品を精密に調査し、損傷を食い止め、今後それぞれに適

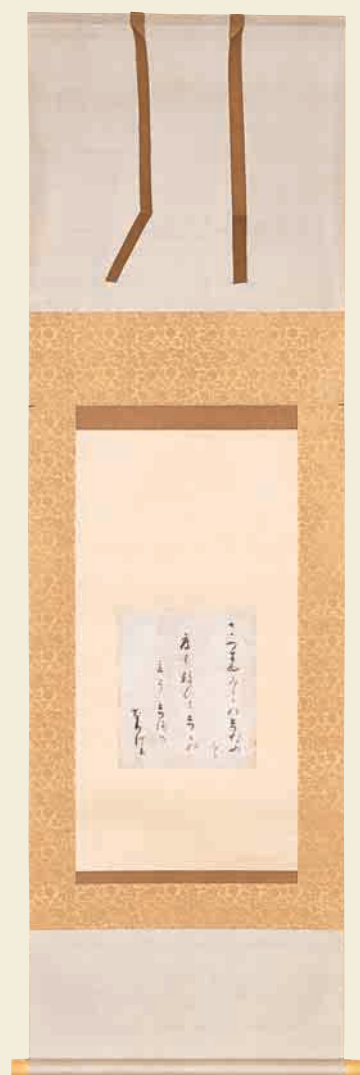
した環境で保存していくため、毎年多くの作品を修理する活動も行っています。

興味深いことに、修理を行うことにより、作品の制作過程で用いられた方法や材料を具体的に知ることができます。また、作品にとつて最適な修理方法を選ぶためにX線、紫外線、赤外線等を用いた特殊撮影を行う過程で、肉眼でとらえることのできない納入品や下書き、過去の補彩などが見つかるとも多々あります。これらは作品が作られた時代を映す貴重な情報といえるでしょう。

の作品を披露するだけでなく、修理工程もパネルで紹介しています。修理の過程で明らかになった情報は、平常陳列では見ることのできないものです。今年度は絵画、書跡、彫刻、歴史資料、工芸、考古に至る、幅広い分野の修理成果をご覧頂きます。是非お楽しみ下さい。(三笠景子)



螺鈿盒子(修理後) 高麗時代・14世紀 松本榮一氏寄贈
経年による塗膜の亀裂を修理し、螺鈿の剝落止めを行った



大色紙(修理後) 伝藤原公任筆
平安時代・12世紀 松永安左衛門氏寄贈
料紙の折れを直し、剝落の危険性が高い雲母の固定に多くの時間を費やした

文化財を守る ―保存と修理―

本館17室

東京国立博物館における保存と修理の様子を知っていただくため、平成十九年一月に開設された展示室です。ここでは、修理前後の作品を並べることで保存科学の成果を紹介しています。また、パネル解説や保存に関わる道具・装置の展示などを通して、文化財保護の意義をご理解いただけるような構成となっています。(日高慎)

二月二十二日(日)までの展示は考古資料の中でも最も変形・変質が著しい鉄製品の内、銀象嵌大刀の修理前後の姿を比較するものです。大刀は古墳時代の主要武器ですが、鏢は日本列島独自に発達し近世日本刀にまで引き継がれました。象嵌大刀は弥生時代の大鉄製品に続いて五世紀に国産品が現れ、五世紀末頃からしばしば柄頭や関・鏢・鏢部に各種の文様を施し、七世紀にまで盛んに製作されました。しかし、長期間に進んだ錆のためそうした文様を肉眼で

確認できることは稀です。象嵌資料はX線撮影で確認の上、保存処理・強化後に研出しを行います。展示品は関部両面の通常鏢元孔がある位置に、四重の花形文様を施した珍しい例です。型取技術を用いて補填部用の保存安定台を製作し、製作復元の景観の再現も、た。

(古谷毅)



銀象嵌大刀残片(修理後)
群馬県出土 古墳時代・6世紀
群馬県寄贈



◎仏涅槃図 平安時代・12世紀

これだけは
見逃せない!
おすすめの
この1点

数少ない平安時代の仏涅槃図のひとつ

重要文化財

ぶつねはんず
仏涅槃図

1月27日(火)〜3月1日(日)
本館3室 仏教の美術

仏涅槃図は、仏教の開祖釈迦の命日・二月十五日に行われる涅槃会（にぱんかい）あるいは常楽会と呼ばれる仏教儀礼で用いられた画像です。仏陀としての釈迦を追慕し、その遺徳を讃える儀礼はアジアの仏教圏で広く見られ、立体・平面とも多くの造像例が知られます。日本では興福寺や石山寺で早くから行われ、平安時代半ば以降には各地の寺院で行われるようになったことが史料からうかがわれます。日本に現存する作例としては、立体よりも平面、特に中世以降の画像が多く見られます。

そうした中でこの作品は数少ない平安時代の仏涅槃図のひとつです。横長の画面の中央に、台の上に横たわり安らかに目を閉じる釈迦を描き、その周りに諸弟子や諸菩薩・諸天、動物ら会衆たちが描かれています。釈迦をはじめ会衆たちは、後代のものに比べると皆大きめに描かれます。画像を眼にする者があたかも会衆の一員として涅槃の場に立ち会っているかのような視点から描かれた

構図は、平安時代の涅槃図の特徴といえ、鎌倉期以降の主流となる視点を高く取って涅槃の情景を俯瞰的・説明的に描く構図とは対照的です。しかし、そうした構図や横たわる釈迦を象る線や彩色に平安時代的といえるおおらかで明るく上品な造形感覚がある一方で、会衆たちを象る描線には緊張感のある動きに富んだ墨線が用いられ、その表情も卑俗なものとなり、彩色も色数を抑えた沈んだ色感の彩色となつて、鎌倉時代的な造形感覚も合わせ持つことがみてとれます。これらのことから、この作品は鎌倉時代にながる感覚がみてとれる平安末期十二世紀後半の制作と考えられています。

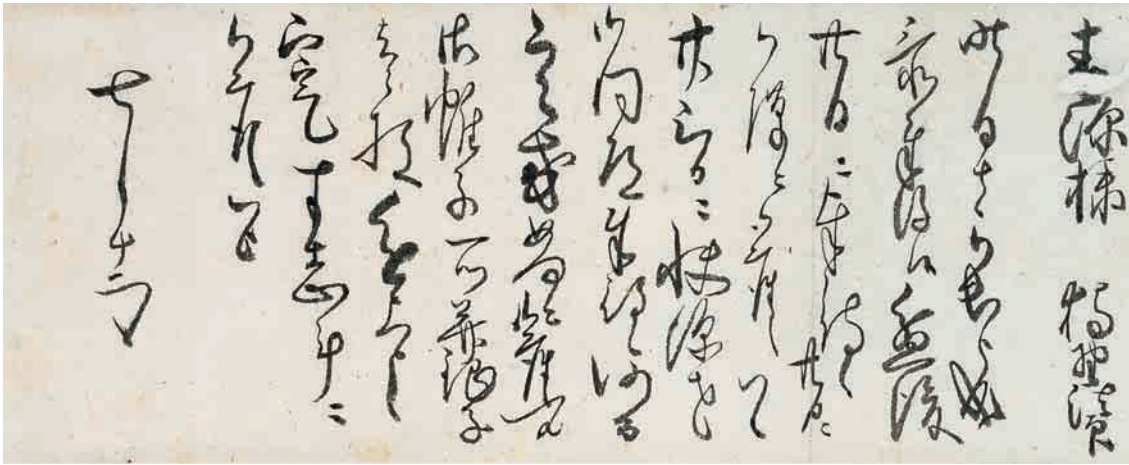
この作品の展示期間中、同じ仏教の美術のコーナーでは室町時代の涅槃図も展示いたしますので、同じ情景を描いたものでも時代によりどのような違いがあるのかを、是非、両方を見比べ、感じ取っていただけたらと存じます。
(沖松健次郎)

注目の 特集

本館特別1室

手紙にみる画家たちの素顔 特集陳列「画家の手紙」

2月3日(火)～3月15日(日)



書状 狩野探幽筆 江戸時代・17世紀 探幽が高野山の春深に宛てたもの。両者はともに弘法大師空海の書に心を寄せた

狩野探幽、酒井抱一、谷文晁、円山応挙……、いずれも江戸時代の絵画の名手として知られ、その作品は当館でも高い人気を博しています。ところで、その作品や画家の知名度に比べ、彼らの筆跡が注目される機会は、従来どれほどあったでしょうか。この特集陳列では、こうした画家の手紙を精選し、ご覧いただきます。用件を伝達すれば役目を終える手紙は、ある時期に破棄され、或いは散逸するのが大半です。しかし、偶然にも宛先で残り、所有者を変えつつ時代を経て、博物館に収蔵され、なおかつ展示されるなど、本人たちには想像外のことでしょう。今回は、釈文とともにご覧いただきます。従来の絵画作品を主軸とした画家像が揺らぐかもしれません。しかし何より、画家である以前に、人としての魅力にも大いに注目いただけたら幸いです。

(丸山猶計)

本館特別1・2室 企画展示

鬼、飲みすぎて退治される 特集陳列「酒呑童子」

3月24日(火)～4月19日(日)

源頼光とその家来の四天王が、酒呑童子と呼ばれる鬼を退治した話は、御伽草子で広く知られ、室町時代以来、「酒呑童子絵」が、絵巻や屏風に盛んに描かれました。

今回の特集陳列では、室町時代末から桃山時代に描かれたと推測される「酒呑童子絵扇面」の紹介を中心として、狩野派の「酒呑童子絵巻」の祖本となった室町時代末の狩野元信

筆「酒呑童子絵巻」の模本、桃山様式を示す当館所蔵の伝狩野孝信筆「酒呑童子絵巻」、さらには、現在原本知られない江戸時代初期の狩野探幽筆「酒呑童子絵巻」の模本を加えて、室町時代から江戸時代初期にかけて流行した「酒呑童子絵」を比較しながら見ようという企画です。(田沢裕賀)



酒呑童子絵扇面 室町～安土桃山時代・16世紀 都から連れてきた女房をはべらせる酒呑童子

本館16室 歴史資料

「歴史を伝える」シリーズ

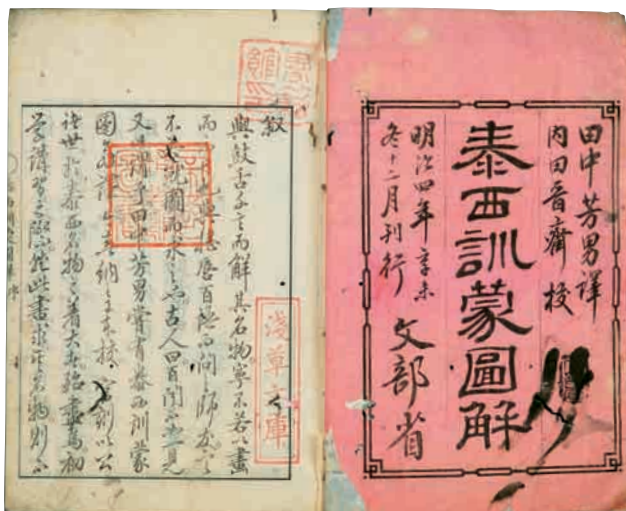
特集陳列「博物館の歴史―書籍館しよじやくかんの歴史―

旧蔵本を中心に―

1月27日(火)～3月15日(日)

明治二年(一八六九)、明治政府は徳川幕府の開成所・昌平坂学問所・医学館などの文教施設を併合して大学校を設立し、それまでに収蔵されていた旧幕府の書籍類を接収しました。文部省は博物館の開館にともない、これらの書籍類を一カ所に集め一般公開するために、明治五年(一八七二)、書籍館を設けます。明治七年(一八七四)に移転して改称した浅草文庫の十四万点の蔵書は、大部分が所管の官庁に返却されました

が、博物館の業務に関わる資料は、当館に引き継がれています。書籍館と呼ばれたのはたった二年間でしたが、「書籍館」の印記のある資料は、現在もたくさん残されています。これらの資料から、博物館の歴史をかきまします。(高橋裕次)



田中芳男訳「泰西訓蒙図解」明治4年(1871)出版 中央の上部に「書籍館」の印記がみえる



本館18室 近代美術

勝海舟への追悼の念

形見の直垂 川村清雄筆

12月23日(火・祝)〜3月1日(日)

この作品は、激動の時代を駆け抜けた勝海舟(一八三〇〜九九)の死後、彼と親しかった川村清雄(一八五二〜一九三四)が、その逝去に対する哀悼の念を描き出したものです。

悲しげな表情を浮かべた少女が身につけているのは、勝の葬儀の際、棺を運んだ人が身にまとっていた白い直垂。少女の左手の指し示すのは、棺の上に載った勝海舟その人の古代風の彫像。棺の周りには勝の死を悼むかの

ように黄色い花が供えられています。川村は生前の勝と、棺に地獄図を描くという構想を話しあいました。この石棺はその思い出を絵の中で再現して見せたものとも言われています。少女の手前に敷かれているのも、勝の遺愛の和蘭絨緞です。こうしたモチーフを組み合わせることで、川村は敬慕した故人への弔意で画面を満たしたのです。(植田彩芳子)



形見の直垂 川村清雄筆 明治32〜44年(1899〜1911)

本館14室 工芸

特集陳列「おひなさまと人形」

台付きからくり 輪舞人形

2月3日(火)〜3月15日(日)

からくり人形は、江戸時代に西洋から輸入されたゼンマイ仕掛けの時計からヒントを得て作り出されました。このからくりは、台の中に機巧を仕込み、台横の取っ手を回すと総勢二十二人の人形がぐるぐるとまわって踊る大仕掛け。中央の演台で三味線を爪弾く男がいることから、おそらく、音がでるような仕掛けも仕組まれていたと考えられます。中央



には松竹梅の造り花に鶴亀が添えられ、金地の台にも松竹梅が彩色されています。おめでたいお祝いの席での余興にと、あつらえられたものでしょうか。(小山弓弦葉)

本館13室 漆工

慶賀の意匠

国宝 梅蒔絵手箱及び

内容品

12月23日(火・祝)〜3月22日(日)

手箱の表面には、賑やかに咲き誇る紅白の梅と水辺に群れ遊ぶ雁が描かれています。梅の樹の傍らには几帳が置かれ、空には文字どおり雁行して飛ぶ雁が見られます。一見不思議な取り合わせですが、画中に文字が散らされており、『日本文集』の「栄は錦帳を伝え 花は夢を連ねたり 彩は綾袍を動かし 雁は行を趁う」という詩の一節を表現した図柄と分



●梅蒔絵手箱 蓋表
鎌倉時代・13世紀 静岡・三嶋大社蔵
文字は右から「錦」「帳」「雁」「栄伝」「行」

かります。白居易が友人とともに昇進を遂げた際、その慶びを歌ったという有名な漢詩で、ここに見る金と銀を用いた煌びやかな表現は、まさに慶賀の意匠に相応しいものです。(竹内奈美子)

法隆寺宝物館第6室 染織

7世紀の精巧な両面刺繍

重文 繡仏裂

2月24日(火)〜3月22日(日)

強い撚糸を用いて、文様を輪郭線で縁取り、内部を細かく埋める手法は、飛鳥時代の刺繍の特徴です。両者とも特別の織り幅に織られた絨という裂に、左側は蓮華座に坐す菩薩が天衣を頭上に大きく翻し、菩薩の頭上には火焰を伴った宝珠や雲などが配されています。右側は火焰宝珠やパルメット、雲などが



あらわされています。この刺繍は継ぎ針繍という技法で、文様が表裏同じようにあらわれる精巧な両面刺繍です。特別な幅という両面刺繍である点、また、文様の類似点などからみて、もとは金銅灌頂幡の天蓋の四隅に飾られた小幡の幡足だったと考えられています。(沢田むつ代)



◎繡仏裂(部分) 飛鳥時代7世紀
強い撚糸を用いる刺繍は、飛鳥時代の特徴です

平成館
小講堂

こどもたちのアートスタジオ

当館生涯学習ボランティアによるワークショップを開催いたします。

「勾玉作り」

平成館考古展示室にある勾玉を見学した後に、滑石を削って勾玉を制作します。

日時：3月8日(日) 13:30～15:30(120分)

場所：平成館小講堂

対象：小学校3年生から高校生 ※保護者の方の見学も可能です(但し平常展観覧料が必要です。)

定員：10名程度

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に、「勾玉作り 3月8日」とお書きのうえ、郵便番号・住所・参加される方のお名前(ふりがな)・学年・電話番号・保護者が一緒の場合はその人数、「返信用表面」に、返信先の郵便番号・住所・氏名を明記し下記までお申込下さい。

締め切り：2月23日(月) 必着 ※締め切りの後、参加券をお送りします。なお、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 学芸企画部 博物館教育課 ボランティア室

平成20年度

東京芸術大学学生ボランティア作製の 制作工程模型展示とギャラリートーク

平成16年度から始まった、東京芸術大学学生ボランティアによる「制作工程模型」プロジェクトの新作が展示されます。今年度は初めて絵画をテーマにし、重要文化財「一字金輪像」の制作工程を本館20室「みどりのライオン」でご紹介します。また、制作過程で得られた知見を、模型を前にご説明するギャラリートークも予定しています。皆さまの鑑賞のお役に立つことができれば幸いです。

◇制作工程模型展示：

1月14日(水)～3月29日(日) 本館20室

◇ギャラリートーク：古賀海人「裏彩色—隠れた色彩の効果—」

実施日時：2月17日(火)、19日(木)、21日(土)、22日(日)、25日(水)

各日15:00～15:30

解説場所：本館20室 みどりのライオン

集合場所：本館1階エントランス



◎一字金輪像 鎌倉時代・13世紀 見どころは「裏彩色」の技法です ※期間中原本の展示はありません

ボランティアによるガイドツアー 「探検！古代エジプト・西アジア」

東京国立博物館は、日本の古美術品のみならず、東洋の様々な地域や時代の作品も所蔵しています。それらは主に東洋館で展示されており、各地域の特色を比較したり、日本美術の源流をたどることができます。その中でも「カルトナーージュ棺とミイラ」や「石彫ヘラクレス立像」などエジプト・西アジアの考古美術品は、開館以来常に展示され、皆様にひととき親しまれてきました。そこで、エジプト・メソポタミアの古代文明とペルシアの魅力に迫るガイドツアーを実施し、初めての方にも楽しくご観覧いただきたいと思います。

実施期間：2009年2月11日(水・祝)までの水・日曜日

実施時間：11:00～11:30、15:00～15:30

集合場所：東洋館1階エントランス

月例講演会

「仏涅槃図について

—東京国立博物館本を中心に—

本館3室に展示される仏画について、担当研究員が解説します。

講師：小林達朗（絵画・彫刻室主任研究員）

日時：2月21日（土）13:30～15:00（開場13:00）

会場：平成館大講堂

定員：380名（当日先着順）

聴講無料：ただし当日の入館料は必要

「画家の手紙」

本館特別1室で開催する同名の特集陳列（2月3日～3月15日）に関連した講演会です。

講師：松原茂氏（根津美術館学芸部長）

日時：3月14日（土）13:30～15:00（開場13:00）

会場：平成館大講堂

定員：380名（当日先着順）

聴講無料：ただし当日の入館料は必要

「妙心寺」展関連事業

呈茶

裏千家による呈茶を行います。

日時：2月12日（木）、13日（金）

各日10:00～16:00（定員に達し次第終了）

会場：平成館ラウンジ

無料：当日受付（ただし、特別展観覧券が必要）各日先着600名

坐禅会

東京国立博物館の庭園内にある九条館で、妙心寺派僧侶のご指導の下、坐禅を体験できます。

日時：2009年1月23日（金）、1月28日（水）、2月4日（水）、2月11日（水・祝）、2月18日（水）の各日2回（11:00、14:00）。各回1時間

会場：九条館（東京国立博物館庭園内）

無料：当日平成館ラウンジにて受付（ただし、特別展観覧券が必要）各回先着40名

禅トーク

若手僧侶が妙心寺派と展覧会の紹介をします。

日時と担当僧侶

1月22日（木） 富岡孝宗師（梅洞寺）

1月29日（木） 山本文溪師（宋雲院）

2月 5日（木） 松竹寛山師（平林寺）

2月12日（木） 小林秀嶽師（円光寺）

2月19日（木） 羽賀浩規師（蓮華寺）

2月26日（木） 高橋宗寛師（妙性寺）

1日3回（11:00、13:00、15:00）、各回20分程度

会場：平成館1階ガイダンスルーム

申込不要

「国宝 阿修羅展」記念講演会

第1回

「興福寺創建と天平文化」多川俊映師（法相宗大本山興福寺貫首）

4月11日（土）13:30～15:00（開場13:00）

会場：平成館大講堂

無料：ただし「国宝 阿修羅展」観覧券（半券でも可）が必要

申込締め切り：3月24日（火）必着

第2回

「国宝 阿修羅像について」金子啓明（当館特任研究員）

4月25日（土）13:30～15:00（開場13:00）

会場：平成館大講堂

無料：ただし「国宝 阿修羅展」観覧券（半券でも可）が必要

申込締め切り：4月7日（火）必着

第3回

「奈良時代の興福寺と阿修羅像」佐藤信氏（東京大学大学院教授）

5月9日（土）13:30～15:00（開場13:00）

会場：平成館大講堂

無料：ただし「国宝 阿修羅展」観覧券（半券でも可）が必要

申込締め切り：4月21日（火）必着

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号・聴講希望する講演会の日付を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記して下記までお申し込みください。

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9 ヤマナシビル（ウインダム内）「国宝 阿修羅展」広報事務局

講演会〔（1）4月11日または（2）4月25日または（3）5月9日〕係

1枚の往復はがきで1つの講演会に最大2人の応募可。2人の場合はそれぞれの氏名を必ず明記のこと。応募多数の場合は抽選の上受講券をお送りします。

■興福寺講座「天平の文化空間の再構成」

会期中の水曜日 11:30、14:00、16:00。各30分程度

会場：平成館大講堂

定員：各回380名（当日先着順）

興福寺のお坊さんが、興福寺創建期の歴史と中金堂再建事業についてお話しします。

無料

平成20年度 東京芸術大学学生ボランティアによる ギャラリートーク

東京芸術大学大学院生のボランティアが、平常展の展示品を紹介します。バラエティーに富んだギャラリートークをお楽しみください。各回15:30～（30分程度）

①武蔵鐙の文と竹一重切花入

— 利休の書状を読む —

解説者：原瑛莉子

日程：1月6日（火）、7日（水）、10日（土）、11日（日）、12日（月・祝）

場所：本館4室（本館1階エントランス集合）

②沈鈴筆「鹿鶴図屏風」と南蘋派

— 流行する新たな中国花鳥画 —

解説者：浦木賢治

日程：1月8日（木）、9日（金）、14日（水）、15日（木）、17日（土）

場所：東洋館8室（東洋館1階エントランス集合）

③海を渡った明治の工芸

— Japanese Crafts at the World's Columbian
Exposition in Chicago, 1893 —

解説者：五味良子

日程：1月18日（日）、21日（水）、22日（木）、25日（日）、28日（水）

場所：本館19室（本館1階エントランス集合）

④京都・大將軍八神社「男神坐像」

— 神の像と仏の像 —

解説者：丹村祥子

日程：1月30日（金）、2月4日（水）、6日（金）、11日（水・祝）、13日（金）

場所：本館11室（本館1階エントランス集合）

⑤男山蔣絵硯箱

— 仰ぐ峰より出づる月影 —

解説者：中垣千尋

日程：2月7日（土）、12日（木）、18日（水）、24日（火）、27日（金）

場所：本館13室（本館1階エントランス集合）

⑥室町時代の関東水墨画

— 阿弥派から雪村へ —

解説者：和田千春

日程：2月21日（土）、25日（水）、26日（木）、28日（土）、3月1日（日）

場所：本館3室（本館1階エントランス集合）

INFORMATION

イベント開催のお知らせ

東京国立博物館スプリングコンサート 異色ーピアノと尺八ー
#ピアニスト・岡田博美と尺八奏者・渡辺淳 異色の取り合わせ! #

日時 3月7日(土) 開演15:00 開場14:30
場所 東京国立博物館 平成館ラウンジ
出演 岡田博美(ピアノ)
渡辺淳(尺八)／金益研二(ピアノ)
曲目 〈尺八〉ピアノ：リベルタンゴ
〈ピアノ〉ショパン：エチュード Op.10 No.3「別れの曲」他
料金 5,000円 全席自由
※友の会・キャンパスメンバーズ割引 4,000円
主催 東京国立博物館／サロン・ド・ソネット

チケットのお求め方法

●当館正門観覧券売場でのチケット販売

受付 開館日の9:30～16:30
(月曜休館。月曜が祝休日にあたる場合は翌日休館。)

●電話予約販売

お申込先 東京国立博物館総務課イベント担当 TEL 03-3821-9270
受付時間 月曜日～金曜日の9:30～17:00(祝休日は除く)
引換時間 公演当日、9:30～正門観覧券売場にて現金引換でお渡します。
お問合せ 東京国立博物館総務課イベント担当 TEL 03-3821-9270
月曜日～金曜日の9:30～17:00(祝休日は除く)

※イベントの詳細は、当館ホームページでご確認ください。
※お車でのご来館はご遠慮ください。

東京・春・音楽祭 —東京のオペラの森 2009—

今年で5回目。東京の春の訪れを音楽とともに祝う音楽祭。
東京国立博物館で春の喜びを!!

①ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.1 神谷郁代(ピアノ)

日時 2009年3月15日(日) 開演14:00 開場13:15
会場 東京国立博物館 平成館ラウンジ
出演 神谷郁代(ピアノ)
料金 自由席 3,000円(コンサート当日、平常展をご覧ください。)
曲目 J.S.バッハ：パルティータ第2番ハ短調 BWV826、
イタリア風協奏曲BWV971、インヴェンションより 他

②ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.2 向山佳絵子(チェロ)

日時 2009年3月18日(水) 開演19:00 開場18:30

◆東京国立博物館賛助会員
募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・平常展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。賛助会員には、特別会員と維持会員との2種類があります。

年会費

特別会員 100万円以上
維持会員 法人 20万円
個人 5万円

主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

*賛助会員のお申し込みは随時受け付けています。

*お問い合わせ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
TEL 03-3822-1111(代)

会場 東京国立博物館 法隆寺宝物館エントランスホール
出演 向山佳絵子(チェロ)
料金 自由席 3,000円
曲目 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第3番ハ長調BWV1009、第4番変ホ長調BWV1010
カサド：無伴奏チェロ組曲 他

③ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.3 渡辺玲子(ヴァイオリン)

日時 2009年3月28日(土) 開演14:00 開場13:15
会場 東京国立博物館 平成館ラウンジ
出演 渡辺玲子(ヴァイオリン) 横坂源(チェロ)他
料金 自由席 3,000円(コンサート当日、平常展をご覧ください。)
曲目 J.S.バッハ：ゴールドベルク変奏曲BWV988(弦楽三重奏編曲版) 他

④ミュージアム・コンサート カルテット・スピリタス ～サクソフォーンの響き

日時 2009年4月5日(日) 開演11:00／13:00(2公演)
会場 東京国立博物館 本館エントランスホール
出演 カルテット・スピリタス(サクソフォーン四重奏)

主催 東京・春・音楽祭実行委員会
共催 東京国立博物館
お問合せ ハローダイヤル TEL 03-5777-8600
東京・春・音楽祭実行委員会事務局 TEL 03-3296-0600
URL <http://www.tokyo-harusai.com>

※「東京・春・音楽祭 —東京のオペラの森 2009—」のチケットは東京国立博物館(窓口のみ)、東京文化会館チケットサービスほか、チケットぴあなど各種プレイガイドで販売。

チケットプレゼントのお知らせ

◆興福寺創建1300年記念「国宝 阿修羅展」

本誌4ページで紹介した「国宝 阿修羅展」の無料観覧券を抽選で10組20名様にプレゼントいたします。締め切りは3月10日(火)必着

◆「Story of…」カルティエ クリエイション～めぐり逢う美の記憶

本誌5ページで紹介した「Story of…」の無料観覧券を抽選で10組20名様にプレゼントいたします。締め切りは3月10日(火)必着

※プレゼントの応募方法

はがきに、希望するプレゼント名、住所、氏名(ふりがな)、男女、年齢、職業、この号でいちばんおもしろかった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館
広報室「ニュース2・3月号」プレゼント係

東京国立博物館賛助会員 2008年12月8日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社コア 様
株式会社精養軒 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社毎日新聞社 様
株式会社大林組東京本社 様
朝日新聞社 様
株式会社ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社ミロク情報サービス 様
株式会社東京放送 様
読売新聞東京本社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様

維持会員

東京電力株式会社 様
三菱電機ビルテクノサービス株式会社 様
早乙女 節子 様
株式会社三冷社 様
宇津野 和俊 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
株式会社東京美術 様
森内 匠人 様
服部 禮次郎 様
株式会社鶴屋吉信 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 泰光 様
齋藤 邦裕 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様

藤原 紀男 様
松本建設株式会社 様
中川 俊光 様
関合 徳衛 様
高橋 徹 様
小澤 桂一 様
上久保のり子 様
株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
コクヨファニチャー株式会社 様
星 瑠 尚 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
帖佐 誠 様
株式会社 古美術数本 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
牧 美也子 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
塚越 香 様
高木 美華子 様
日本ハーデス株式会社 様
山岡 ユウ子 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
齋藤 泰光 様
是 常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
謙慎書道会 様
社団法人 全国学校栄養士協議会 様
山田 泰子 様
近代書道研究所 様
田村 久雄 様
日本畜産興業株式会社 様
高橋 徹 様
柴田 陸子 様
絹村 安代 様
高橋 良守 様
岡田 博子 様
臼井 生三 様
津久井 秀郎 様
藤倉 光夫 様
川澄 祐勝 様
神通 豊 様
永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
石川 公子 様
池田 慶子 様
株式会社 東京書芸館 様
青山 千代 様
藤崎 英喜 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様
東野 治之 様
辻 泰二 様
高木 聖鶴 様
竹下 佳宏 様
松原 聡 様
シチズンホールディングス株式会社 様
野澤 智子 様
有賀 浩治 様
吉田 幸弘 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
池谷 徳雄 様
脇 素一郎 様

高谷 光宏 様
青山 道夫 様
杉原 健 様
木谷 駿二郎 様
木村 茂直 様
木村 則子 様
インフォコム株式会社 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
関 哲夫 様
堤 勝代 様
山下 由紀子 様
平井 千恵子 様
秦 芳彦 様
田中 千秋 様
学校法人 大勝院学園 様
小西 暉也 様
澁谷 洋志 様
山下 照夫 様
小澤 祐子 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
高見 康雄 様
田中 望 様
三井 速雄 様
坂詰 貴司 様
吉田 靖 様
有限会社 システム設計 様
松本 雅彦 様
明珍 素也 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
狩野 祐光 様
大森 雅子 様
鈴木 宗鶴 様

(ほか56名3社、順不同)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 年会費 1万円 発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート 一般 4,000円 学生 2,500円

発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*京都国立博物館は2008年12月8日より平常展示館の建て替え工事のため当分の間平常展示を休止しています

◆お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ホームページで

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会

口座番号00160-6-406616

*振替用紙には職業・年齢・性別を楷書でご記入ください

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート

口座番号00140-1-668060

*振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は学校名および学生証番号を楷書でご記入のうえ、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

*振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートチケットが届くまで保管しておいてください

*振替手数料はお客様の負担となります

*郵便振替でのお申し込みには2週間かかります

◆問い合わせ

TEL 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◆お申し込みは郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース

口座番号00100-2-388101

*振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください

*振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください

*振替手数料はお客様のご負担となります

*次号より送付ご希望の場合、締切は3月10日です

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブ更新などの情報をいち早くお届けします *ご登録は<http://www.tnm.jp/>から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00、4月から11月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、2009年3月28日(土)～9月の土・日・祝・休日は18:00まで(入館は閉館の30分前まで)

休館日 毎週月曜日(祝日、休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月1日)。2009年5月4日(月・祝)～6日(水・休)は開館し、5月7日(木)休館、6月23日(火)は臨時休館。8月10日(月)は開館。

平常展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

* ()内は20名以上の団体料金

*障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください

*満70歳以上、および高校生以下の方の平常展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*お申し込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

TOPICS



◆平成館考古展示室が新しくなりました

二〇〇八年十一月十七日からメンテナンス・展示の一部改修等のために閉室していた考古展示室が一月二日よりオープン。テーマ展示の中に、新たに特集陳列のコーナーができました。第一回目は今年度の考古相互貸借事業の一環として、長野県立歴史館からお借りした弥生時代から古墳

時代の土器を展示します。この時代の生活の変化を、土器の移り変わりから見ていただくとうとするものです。三月十五日(日)までの展示です。どうぞお見逃しなく。

◆春の庭園開放

三月十四日(土)より四月十九日(日)まで、毎年恒例「春の庭園開放」が行なわれます。本館北側の庭園で、自由に散策をお楽しみいただけます。

※当日の入館料が必要です。
※荒天により中止となる場合があります。

◆本館「日本美術の流れ」

3月2日～30日閉室のお知らせ
展示環境改善のために本館2階1室～10室「日本美術の流れ」を、二〇〇九年三月二日から三十日まで閉室いたします。閉室期間中ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承ください。
2階特別1室は三月十五日(日)まで特集陳列「画家の手紙」(本誌9ページ参照)、特別2室は三月八日



(日)まで特別展「未来をひらく福澤諭吉展」第2会場(本誌3ページ参照。本会場は平常展料金でご覧いただけます)となります。三月二十四日からは特別1・2室を使って特集陳列「酒呑童子」を行ないます(本誌9ページ参照。四月十九日まで)。

◆東洋館休館のお知らせ

東洋館は耐震強化工事のため、六月八日(月)から休館の予定です。詳細は東京国立博物館ニュース次号でお知らせいたします。

◆MUSEUM 617号

(平成20年12月15日発行)の掲載論文

- ①「古墳出土の鉄刀・鉄剣の柄巻と鞘巻き―織物などの種類と仕様―」沢田むつ代(当館上席研究員)
- ②「明治宮殿常御殿模様の考案―正倉院鴨毛屏風模造・平家納経模本の引用と山高信離―」恵美千鶴子(当館書跡・歴史室研究支援者)



◆国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特別展覧会「京都御所ゆかりの至宝―甕の宮廷文化の美」1月10日(土)～2月22日(日)

特別展覧会「開山無相大師650年遠諱記念 妙心寺」3月24日(火)～5月10日(日)

※平常展示は平常展示館の建替工事のため休止しています

〈奈良国立博物館〉

特別陳列「お水取り」2月7日(土)～3月15日(日)

〈九州国立博物館〉

特別展「工芸のいま 伝統と創造」―九州・沖縄の作家たち― 2009年1月1日(木・祝)～3月15日(日)

2009年
2月

東京国立博物館 2009年2月・3月の展示・催し物

2009年
3月

1 SUN	11:00, 15:00 14:00 14:30
2 MON	休館日
3 TUE	列品解説「正宗入門」14:00 本館13室
4 WED	坐禅会 九条館*1 11:00, 15:00 14:00 「京都・大將軍八神社『男神坐像』」15:30
5 THU	禪トーク11:00, 13:00, 15:00 平成館ガイダンスルーム*1 14:00
6 FRI	15:00 「京都・大將軍八神社『男神坐像』」15:30
7 SAT	記念講演会「同床異夢の教育—福澤諭吉と近代日本の教育」 「福澤門下の美術コレクション」13:30*2 13:30 14:00 15:00 「男山蒔絵硯箱」15:30
8 SUN	11:00, 15:00 14:00
9 MON	休館日
10 TUE	列品解説「環境保存室の活動」14:00 本館17室
11 WED	坐禅会 九条館*1 11:00, 15:00 14:30 14:30 「京都・大將軍八神社『男神坐像』」15:30
12 THU	呈茶 平成館ラウンジ*1 禪トーク11:00, 13:00, 15:00 平成館ガイダンスルーム*1 14:00 14:00 14:30 「男山蒔絵硯箱」15:30
13 FRI	呈茶 平成館ラウンジ*1 14:30 15:00 「京都・大將軍八神社『男神坐像』」15:30
14 SAT	記念講演会「近世前期妙心寺派墨蹟の魅力」「禪について」13:30*3 14:00 14:30 15:00
15 SUN	12:30, 14:00 14:30 14:30
16 MON	休館日
17 TUE	列品解説「文化財の臨床医として働く」14:00 平成館企画展示室 「裏彩色」15:00
18 WED	坐禅会 九条館*1 14:00 「男山蒔絵硯箱」15:30
19 THU	禪トーク11:00, 13:00, 15:00 平成館ガイダンスルーム*1 14:00 「裏彩色」15:00
20 FRI	15:00
21 SAT	月例講演会「仏涅槃図について—東京国立博物館本を中心に—」13:30 平成館大講堂 13:30 14:00 14:30 15:00 「裏彩色」15:00 「室町時代の関東水墨画」15:30
22 SUN	14:00 14:00 「裏彩色」15:00
23 MON	休館日
24 TUE	列品解説「書跡に親しむ—画家の手紙」14:00 本館特別1室 「男山蒔絵硯箱」15:30
25 WED	14:00 14:30 「裏彩色」15:00 「室町時代の関東水墨画」15:30
26 THU	禪トーク11:00, 13:00, 15:00 平成館ガイダンスルーム*1 14:00 14:30 「室町時代の関東水墨画」15:30
27 FRI	14:30 15:00 「男山蒔絵硯箱」15:30
28 SAT	14:00 15:00 「室町時代の関東水墨画」15:30

- ＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
＝ボランティアによる浮世絵展示ガイド、集合場所:本館1階エントランス
＝ボランティアによる陶磁エリアガイド、集合場所:本館1階エントランス
＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
＝ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館1階エントランス
＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口
＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス
＝ボランティアによる茶会、集合場所:本館1階エントランス
(一般及び大学生は参加費500円、先着30名、開始1時間前に本館1階で整理券配布)
＝ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館1階エントランス
(先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
＝ボランティアによる英語ガイド(本館ハイライト)、集合場所:本館1階エントランス
＝ボランティアによるガイドツアー「探検!古代エジプト・西アジア」、11:00～、15:00～
集合場所:東洋館1階エントランス 詳細は本誌12ページをご覧ください
＝ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ
(勾玉づくりコース、事前予約制、詳細は本誌12ページをご覧ください。抽選10名)

1 SUN	特別展「妙心寺」 14:00 14:30 「室町時代の関東水墨画」15:30
2 MON	休館日 日本美術の流れ 閉室
3 TUE	列品解説「梅樹禽鳥図屏風の修理について」14:00 平成館企画展示室
4 WED	
5 THU	
6 FRI	15:00
7 SAT	♪東京国立博物館スプリングコンサート 異色—ピアノと尺八— 15:00 平成館ラウンジ*4 13:30 15:00
8 SUN	未来をひらく福澤諭吉展 13:30
9 MON	休館日
10 TUE	列品解説「法帖と帖学派」14:00 東洋館第8室
11 WED	14:30
12 THU	14:00 14:30
13 FRI	14:30 15:00
14 SAT	春の庭園開放 月例講演会「画家の手紙」13:30 平成館大講堂 14:30 15:00
15 SUN	♪ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.1 神谷郁代(ピアノ) 14:00 平成館ラウンジ*5 12:30, 14:00 14:30
16 MON	休館日
17 TUE	列品解説「文化財の治療と予防」14:00 本館20室
18 WED	♪ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.2 向山佳絵子(チェロ)19:00 法隆寺宝物館エントランス*5 14:30
19 THU	
20 FRI	15:00
21 SAT	13:30 14:30 15:00
22 SUN	14:00
23 MON	休館日
24 TUE	列品解説「和漢朗詠集の古筆」14:00 本館20室
25 WED	14:30
26 THU	14:30
27 FRI	14:30 15:00
28 SAT	「Story of...」展 時間延長(18:00まで) ♪ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.3 渡辺玲子(ヴァイオリン)14:00 平成館ラウンジ*5 13:30 15:00
29 SUN	時間延長(18:00まで) 14:30
30 MON	休館日
31 TUE	国宝 阿修羅展 列品解説「乾漆像の造り方」14:00 本館20室

4/19まで5/31まで6/7まで

- ＝芸大学生ボランティアによるギャラリートーク、詳細は本誌12・13ページをご覧ください
＝ミュージアムシアター「国宝 灌頂幡」(～3/29) 上映 10:00 11:00
12:00 14:00 15:00 16:00 各回30名、集合場所:本館1階エントランス

- *1特別展「妙心寺」関連事業 詳細は本誌13ページをご覧ください
*2「未来をひらく福澤諭吉展」関連事業 事前申込は締め切りました
*3特別展「妙心寺」関連事業 事前申込は締め切りました
*4有料イベントです 詳細は本誌14ページをご覧ください
*5有料イベント 東京・春・音楽祭関連イベントです 詳細は本誌14ページをご覧ください
*上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください。
*屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。